

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年6月15日（月）～平成27年6月21日（日）〔第25週〕の感染症発生状況

第25週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.24人と前週（7.88人）より増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は4.91人と前週（4.24人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.00人と前週（6.48人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



手足口病とヘルパンギーナの報告数が増加中！

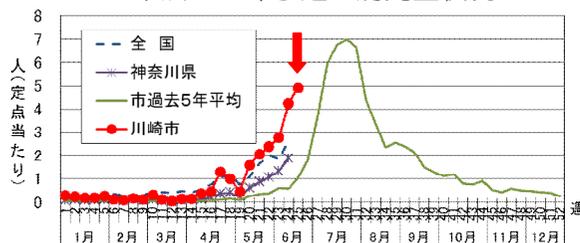
現在、手足口病やヘルパンギーナの患者報告数が増加しています。例年のピークである7月に向けて、患者報告数がさらに増加することが推察されます。

現在、5歳以下のお子さんの報告数が多いため、保育園や幼稚園等の集団施設では予防対策を徹底する必要があります。

～手足口病～

- ・潜伏期間：3～5日
- ・主な症状：手、足、口（口腔粘膜）などに水疱性の発疹がみられ、発熱は38℃以下のことが多い

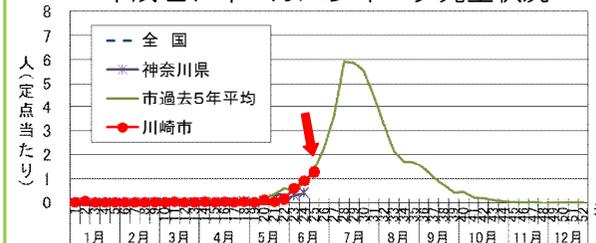
平成27年手足口病発生状況



～ヘルパンギーナ～

- ・潜伏期間：2～4日
- ・主な症状：38～40℃の突然の発熱が多く、喉（のど）の入口付近に小さな水疱性の発疹や潰瘍がみられる

平成27年ヘルパンギーナ発生状況

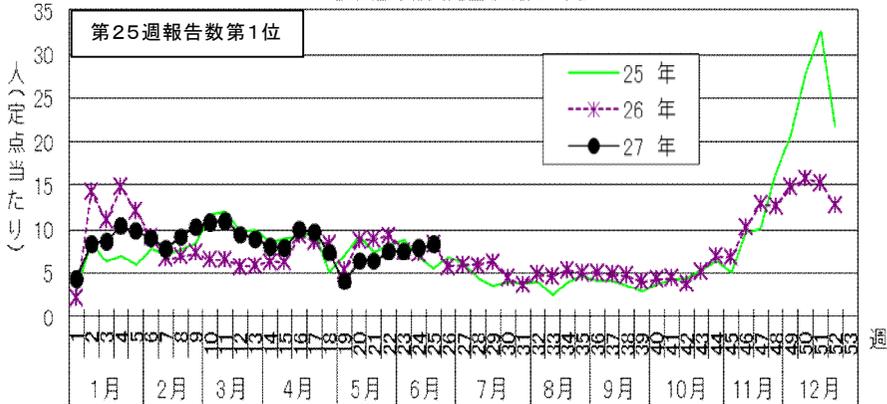


“気をつけたいこと”

- ・症状が改善した後も便中に1か月程度ウイルスが排出されることもあります。特にトイレやおむつ交換の後には、よく手を洗い、便の取扱いには注意しましょう。
- ・口の中の水疱が痛くて飲食できないことがあるので、脱水症状に注意しましょう。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)

